



このベルを鳴らす時 萩原啓子 著 静岡新聞社

ある日突然の難病告知

残された時間をあなたならどう生きますか？

ALS（筋萎縮性側索硬化症）の告知によって言いようの無い喪失感に襲われた著者はある出会いをきっかけに、残された時間を自分らしく生きようと決心した。訪問看護師、傾聴ボランティア、マラソン、絵手紙教室、ハンドベル…闘病中に始めた新たな挑戦で授かった人の支えや温かい心に深謝しながら精一杯生きた時間が綴られる。

定価：1200円+税

ALSの告知を受け、永眠するまでの3年間書き続けた闘病記です。

同じ病気や難病で悩む人や家族、医療、福祉に携わる人に読んで頂けたら幸いです。

萩原昭典

目次

告知

精神科認定看護師を目指して

広島にて

まわり道

看護学生時代の仲間・同級生

2回目の企画

告知後、和歌山へ

友情

セカンドオピニオン

葛藤から自分らしい道を

ケアマネージャー鈴木さんとの出会い

絵手紙教室

思い出の地 上高地へ（2010年7月）

初めてのALS患者を訪問（2010年7月3日）

患者交流会

患者会の女友達

チャットルーム

パッチアダムス

マラソンへの挑戦

東日本大震災（2011. 3. 11）

家族

仕事

仕事のエピソード

うつ状態を伴う認知症患者さんとの出会い

新聞記事（2011年8月）

ハンドベル

初めての演奏会

ラジオに取上げられて

終末期にて



絵手紙教室



マラソンへの挑戦



ハンドベル



初めての演奏会

本の注文先：〒421-0217 焼津市上泉612-300 萩原昭典

電話：054-631-7474もしくはMail:hagisa@mqc.biglobe.ne.jpまでご連絡ください。

送料1冊80円（メール便）をご負担下さい。まとめ買いは送料を考慮します。